

プラスチックとの共存を問う「対馬オーシャンプラスチックシリーズ」



プロジェクト概要

対馬オーシャンプラスチックの活用

130年以上もの間、現場で働くプロの職人向けの工具箱や、ハードなアウトドアに特化した収納ボックスを作り続けてきた株式会社リングスター。

同社は、長崎県対馬市へ漂着した海洋プラスチックごみを配合した「対馬オーシャンプラスチックシリーズ」を製造、販売している。対馬オーシャンプラスチックシリーズとして、これまでルアーケース、収納ボックス、工具箱を展開。また、これら「対馬オーシャンプラスチックシリーズ」の販売数に応じて、対馬市へ寄付を行い、さらなる環境寄与につなげている。

現在はプロジェクトが発展して、同社本社が所在する生駒市、対馬市とともにローカル・ブルー・オーシャン・ビジョン推進事業にて、両市の小中学校に赴き、プラスチックへの向き合い方を伝える講座を行っている。



<長崎県対馬市の現状>



<年間約2000～3000個以上が漂着する青いポリタンク>

Rethink Designのポイント

130年を超える歴史と技術力、強みを活かし、強度を供えた再生プラスチック活用実現へ

<Rethink: モノ自身やその関わり方に対する価値の捉えなおし>

- 長崎県対馬市へ漂着する海洋プラスチックごみ(オーシャンプラスチック)、中でも、年間約2000～3000個以上漂着するポリエチレン製の青いポリタンクに着目。

<Design: 価値をデザインするまでの歩み>

- (株)リングスターがもともと提供してきた価値は、圧倒的な「強度」。
- 再生プラスチックは、一度成形されて固まったものを粉碎。どうしても「空気」「ほこり」「ごみ」などの異物が混じる。またプラスチックにはPP(ポリプロピレン)やPE(ポリエチレン)、PC(ポリカーボネート)など、様々な種類があり、融点も異なる。そのため、混合した樹脂は成形ができず、強度が弱く安定性にも欠ける。
- 創業から130年を超える歴史と技術力、強みを活かして、異材であるごみを混ぜても耐久性を担保できるよう試み、検証を重ねた結果、製品化実現に至る。

プロジェクト関係者

(株)リングスター	製造・販売
リサイクル企業	分別支援、ベレット化
対馬市、対馬市民	回収・分別
生駒市SDGs課	普及啓発
対馬市SDGs課	普及啓発
尾崎えりこ氏	普及啓発
全国のアウトドア、釣具専門店	販売

